



亀っ子だより

第47号

— 亀崎小学校 校長通信 — 2021年11月4日

修学旅行に行ってみて感じたこと

10月27・28日、修学旅行に行ってきました。この修学旅行で印象的だったのは、子どもたちの熱心にメモを取る姿です。バスの中で法隆寺の説明を聞いている時も、法隆寺を目の前にして説明を聞いている時も、東大寺大仏殿の中に入って仏像の説明を聞いている時も、子どもたちはバスガイドさんの話を一言も漏らすまいと一生懸命にメモを取っていました。これは、事前指導の賜物だと思います。修学旅行を学びの機会としてとらえていたからこそ、このような姿が見られたものと思います。

また、2日目は、学級を解体し、子どもたちが考えたテーマ別に

28の班を作り京都分散研修を行いました。

室町時代を学ぶために金閣寺や銀閣寺を見学する班、伝統文化を受け継ぐ人の心情に迫ろうと能や和菓子作りの体験をする班など、テーマに沿った見学地をそれぞれが見つけ、訪問し、話を聞いたり間近に見たりして学んでいったものと思います。

2日間を通して、子どもたちは見学するだけではなく、何かを学ぼうとする目の輝きをもち続けていたように感じます。そのため、話を聞く態度、出会った人への礼儀正しさは素晴らしいものでした。

目的をもって活動することの大切さを6年生の子どもたち、担任の先生に教えられた修学旅行でした。感謝、感謝。



修学旅行エピソード

その1

掘割につく直前、バスガイドさんが子どもたちとお別れの挨拶をしました。その時、バスガイドさんは涙ぐみながらお話をされたそうです。私が乗っていたバスではなかったので詳しいことは分かりませんが、きっと子どもたちとガイドさんとのやり取りの中で子どもたちの素直さや優しさや真剣さを感じることがあり、心地よい時間を過ごされたことがガイドさんの涙につながったのではないかと思います。人との出会いに心震わす経験を子どもたちもしたのではないかと思います。

その2

奈良の宿泊旅館で、子どもたちがお風呂に入っていました。早めに部屋に帰ってきた子たちが布団を敷きだしたので「みんなが部屋に戻ってきてから敷いた方がいいんじゃない？」と言うと「ぼくたちで早めにみんなの分を敷いておきます」と言って部屋にいる子たちだけで全員分の布団を敷いてしまいました。時間を有効に使うとする子どもたちの行動と友だちに対する献身的な態度に感心しました。

その3

この修学旅行で、集合時間や出発時間など、時間について尋ねられることは一度もありませんでした。次の行動を何だったか、注意することは何だったかと尋ねられることもありませんでした。一人一人がしおりを読み込んでいたからだと思います。子どもたちの修学旅行に臨む気概を感じました。亀崎小学校の最高学年にふさわしい子たちだと感心しました。

表彰の記録

- CHUKYO JFC CUP (U-11) 優勝 野村 湊翔 (4年) 石川 友陽 (4年)
- 尾張教育研究会 読書感想文
 - 課題図書部 佳作 ランニングシャツをきたプリンセス 川西 彩桜 (1年)
 - 佳作 オラウータンに私も会いたい 秋田 陽彩 (6年)
 - 自由作文部 佳作 あったらしいな ぼくのステッキ 岩本 奏翔 (1年)
 - 佳作 ばあばは、だいじょぶ 宇佐 明紗 (4年)
- NBA 名古屋バレエコンクール
 - トッシューズ部門小学6年の部 秀麗賞 榊原 杏 (6年)
- 名古屋地区小学生秋季第1回記録会
 - 小学6年 女子 ジャベリックボール投げ 6位 兼井 梓紗 (6年)
 - 小学6年 男子 ジャベリックボール投げ 6位 岸 優直 (6年)
 - 小学6年 女子 走高跳 2位 間瀬志央梨 (6年)
 - 4位 榊原 瑠花 (6年)
 - 小学5年 女子 走高跳 3位 間瀬 花帆 (5年)
 - 小学4年 男子 50m走 7位 日置 悠登 (4年)
 - 8位 林 煌夏 (4年)
- 愛知県小学生ソフトテニス大会
 - 東尾張予選会 5年生女子の部 優勝 武 心遥 (5年)
- 環境保全ポスターコンクール 優秀賞 竹内 壽信 (2年)

♣ 子育てアラカルト ♣

「聴く」心と技術

人に話を聴いてもらうことは、気持ちをとっても楽にしてくれるものだ。そして、上手に話を聴いてあげることは人間関係を円滑にする。

しかし、いくら聴いているといっても、それが相手に伝わらない限り効果はない。
「心からの傾聴」を相手に伝えるには、何らかの技術が必要だということだ。

ある実験より・・・。

〈その1〉

「あなたの趣味は何ですか？」

「音楽鑑賞です」

「ああそうですか。音楽鑑賞ですか」

(大きくうなづく)

〈その2〉

「あなたの趣味は何ですか？」

「音楽鑑賞です」

「ああそうですか」

(おおきくうなづく)

〈その3〉

「あなたの趣味は何ですか？」

「音楽鑑賞です」

「(大きくうなづく)」

〈その4〉

「あなたの趣味は何ですか」

「音楽鑑賞です」

「(じっと相手の目を見るだけ)」

〈その5〉

「あなたの趣味は何ですか？」

「音楽鑑賞です」

「(視線をそらし、硬い表情)」

実験の後、話し手に聞いてみると、最初の方はよく聞いてもらっていると思えて「楽ではのぼのとした感じ」がしたけれど、後になればなるほど「不安な感じ」「腹が立つ感じ」がしたと言うことだ。

「心」はめに見えない。「心から聴いている」といっても、それが相手に伝わらなければどうしようもない。

その「心」を支えるものが**技術、態度**だということがおわかりいただけたかな。

(ある教育者のひとり言 より)